

▶大山小3年 牧はるかさん



全国作文コンクールで

最優秀賞受賞

大山小学校3年生の牧はるかさんが、この度日本体育協会創立100周年記念事業「絵画・作文コンクール」の「作文小学生の部」で最優秀賞を受賞し、7月16日(土)に、東京で挙行された同記念祝賀式典で表彰を受けました。一年生のときに出場した「ジュニアアトリアスロンin

伯耆」で3位入賞した達成感と、これからも運動を続けていくという思いをまとめたものです。自分も頑張る。人も頑張る。そしてお互い認め合い、たたえ合う大切さを学び、宝物を見つけた喜びを綴りました。また、この度の受賞で平井伸治鳥取県知事、横浜純一県教育長、山根浩大山町教育長を表敬訪問し、祝福と激励を受けました。

地域のですくすくと！ おじいちゃん・おばあちゃん大活躍

～所子保育所～



▶子どもたちの真剣なまなざし

所子保育所では、平成20年から「じいじ・ばあばのボランティア」と名づけて園児の祖父母のみなさんが、子どもたちの喜ぶ笑顔を楽しみに、さまざまな活動や環境整備などを支援してくださっています。

ボランティアのみなさんには、年間を通して草取りや花壇の手入れをしていただき、園舎のまわりは、いつもきれいになっています。また、子どもたちは色とりどりの花に触れたり、イチゴやスイカ、

ジャガイモ、キュウリ、トマト、ダイコン、ハクサイなど四季折々の果物や野菜を教わりながら育てています。

水鉄砲作り

6月29日(水)は「ものづくりからあそびの楽しさを知らせる」ことをねらいに、3歳以上児70人と祖父母25人が、竹を使い、水鉄砲を作りました。子どもたちは、おじいちゃん、おばあちゃんと一緒に水鉄砲を作りあげた喜びを味わったり、水が遠くまで飛ぶ面白さに歓声を上げたりしながら楽しみました。

そして、たつぷり遊んだ子どもたちは、おじいちゃん・おばあちゃんに「ありがとうございました」「たのしかったです」など感謝の気持ちを伝えました。

地域に支えられて 心豊かに たくましく

また地域のみなさんから、畑の提供やサツマイモの苗植え、イモ掘り、サクランボ摘



▶的をめがけてワイイ！

み、ヒマワリ迷路遊びを子どもたちは体験させていただいています。地域の方々の善意や「じいじ・ばあばのボランティア」のみなさんの知恵や技術をお借りして、子どもたちに生活する力や日本古来の行事、伝承あそびを伝えていくとともに、豊かな体験や大切な学びをさせていただいていることに感謝しています。これからも、保育所が家庭や地域に支えられて、一人ひとりの子どもたちがたくさん愛に包まれ、心豊かでたくましく育つことを願っています。